

適用病害及び使用方法

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	テブコナゾールを含む 農薬の総使用回数
西洋芝 (ベントグラス)	ダラースポット病	200～250倍	0.1L/m ²	発病前～ 発病初期	6回以内	散布	6回以内
		500倍	0.25L/m ²				
	炭疽病 フェアリーリング病 葉腐病 (ブラウンパッチ)	1000倍	0.5L/m ²				
日本芝	葉腐病 (ラージパッチ)	400倍	0.2L/m ²				

有効成分と性状

種類名	テブコナゾール水和剤
商品名	ミラーージュフロアブル
有効成分	テブコナゾール (化管法1種) ……21.4%
性状	暗青緑色水和性粘稠懸濁液体
荷姿	1L×6本/箱

人畜・魚介類に対する安全性(製剤)

人畜毒性 (急性) 普通物*	経口	ラット (♀)	LD ₅₀ >2,000mg/kg
	経皮	ラット (♂♀)	LD ₅₀ >2,000mg/kg
	皮膚刺激性	ウサギ	刺激性なし
	眼刺激性	ウサギ	刺激性なし
	皮膚感作性	モルモット	皮膚感作性なし
水産動植物に 対する影響	コイ		LC ₅₀ 43.7mg/L (96hr)
	オオミジンコ		EC ₅₀ 57.9mg/L (48hr)
	藻類		ErC ₅₀ 14.9mg/L (0-72hr)

⚠ 効果・薬害等の注意事項

- 使用前に容器をよく振ってください。
- はくさい、だいこんにはかからないように注意してください。
- 使用量、使用時期、使用方法を守り、特に初めて使用する場合は、病虫害防除所等関係機関の指導を受けてください。

⚠ 貯蔵上の注意事項

- 密封し、直射日光を避け、食品と区別して、冷蔵・乾燥した場所に保管してください。

⚠ 安全使用上の注意事項

- 誤飲などのないように注意してください。
- 散布時は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用し、作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをして衣服を換えてください。
- 公園等で使用する場合、散布区域に縄囲いや立て札をたて、散布中および散布後(最小限その当日)に関係者以外は立ち入らせないようにしてください。小児、人畜等に留意してください。
- 火災時は、適切な保護具を着用し消火剤等で消火に努めてください。
- 漏出時は保護具を着用し、布砂等に吸収させ回収してください。
- 移送取り扱いには、ていねいに行ってください。
- 飲めません。
- 有効年月内に使用してください。
- 体調の悪いとき、妊娠中、飲酒後等は取扱い及び作業をしないでください。
- 使用量に合わせて薬液を調製し、使いきってください。
- 空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理してください。洗浄液はタンクに入れてください。

● 使用前にはラベルをよく読んでください。 ● ラベルの記載内容以外には使用しないでください。 ● 本剤は小児の手の届くところには置かないでください。



殺菌剤 芝用



ガードを固める、夏を乗り切る

登録商標 第4640267号

夏の病害ストレスに ストレスガード製剤技術を採用



殺菌剤 芝用

農林水産省登録 第22802号

特 長

- ストレスガード製剤技術を採用した殺菌剤
- 幅広い病害に安定した効果
- 夏期の継続的な予防散布で芝の健康とターフクオリティを維持
- ベントグラスに対する影響が少ない有効成分
- 散布後の芝の美しい仕上がり

ストレスガード製剤技術とは？
ストレスガード製剤技術は、UVB を効果的に遮断しつつ光阻害を緩和する、Envu の独自技術です。この製剤技術を用いた殺菌剤を使用することにより、病害の防除はもちろん、芝のストレス軽減や色合いの向上など、ターフクオリティを向上させることが可能となります。

グリーンの健康を維持するためには予防散布が重要

ミラージュフロアブルで春～秋に
発症しやすい病害を幅広く抑制

病気の発症率を抑えて
夏を乗り切る体力を維持

病害発生が起因する芝の生理障害にも注意。
グリーンの体力を奪う夏の日差しは脅威

ストレス
過剰な熱や
太陽光線

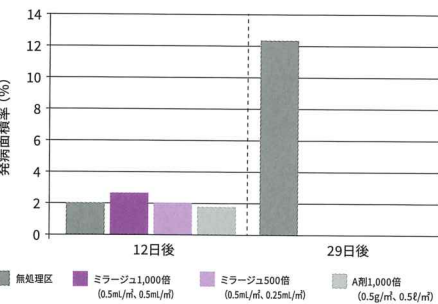
ダウン
植物の光合成を
阻害、体力低下

ダメージ
植物の細胞が
損傷

予防効果の最適化へ

高い効果を引き出す
薬剤ローテーションが
重要ポイントです

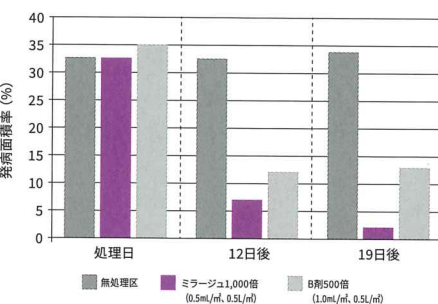
■ ダラスポット病に対する効果



試験場所：東日本グリーン研究所 処理時期：ダラスポット病発病後
処理日：2008年7月3日（無処理病害発生率2.0%）
調査日：2008年7月17日（14日後）（無処理病害発生率12.5%）
散布水量：0.25、0.5L/m²；ミラージュ 0.5L/m²；対照剤
区制・面積：2m²/区、3連制 草種・品種：ベントグラス（ベנקロス）

ミラージュは対照剤と比較して、
同等の効果が認められました

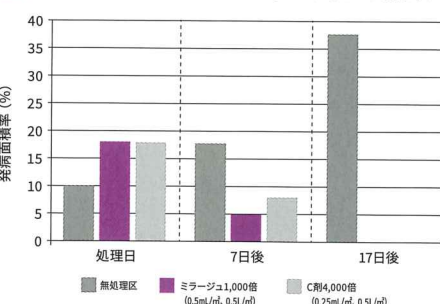
■ 炭疽病に対する効果



試験場所：関西グリーン研究所 処理時期：炭疽病発病後
処理日：2009年5月21日（無処理病害発生率33.0%）6月1日（無処理病害発生率33.0%）
調査日：2009年6月9日（19日後）（無処理病害発生率34.0%）
散布水量：0.5L/m² 区制・面積：2m²/区、2連制
草種・品種：ベントグラス（ベנקロス）

ミラージュは対照剤と比較して、
高い効果が認められました

■ 葉腐病（ブラウンパッチ）に対する効果



試験場所：関西グリーン研究所 処理時期：葉腐病発病後（中発生）
処理日：2009年7月6日（無処理病害発生率10.0%）7月13日（無処理病害発生率18.0%）
調査日：2009年7月23日（17日後）（無処理病害発生率38.0%）
散布水量：0.5L/m² 区制・面積：2m²/区、2連制
草種・品種：ベントグラス（ベנקロス）

ミラージュは対照剤と同様に、2 回目散布後、
非常に高い効果が認められました

フェアリーリング病に対する効果

	希釈倍率	希釈水量 (L/m ²)	区	7月28日	8月11日	9月1日	ベントグラス に対する薬害
				発生程度*	発生程度*	発生程度*	
ミラージュ フロアブル	1,000倍	0.5	I II III	± ± ++	± ± ±	± ± ±	- - -
C剤	2,000倍	0.5	I II III	± ± +	± ± ±	± ± ±	- - -
無処理区			I II III	± ++ +	++ ++ ++	± ++ +	- - -

*発生程度：+++（明瞭）～++～+～±～-（なし）までの5段階で評価

- ミラージュは対照剤と比較して防除効果がやや優れ、高い効果が認められました
- ベントグラスに対する薬害は認められませんでした

ストレスガード製剤予防散布プログラム例データ

★ ストレスガード 製剤

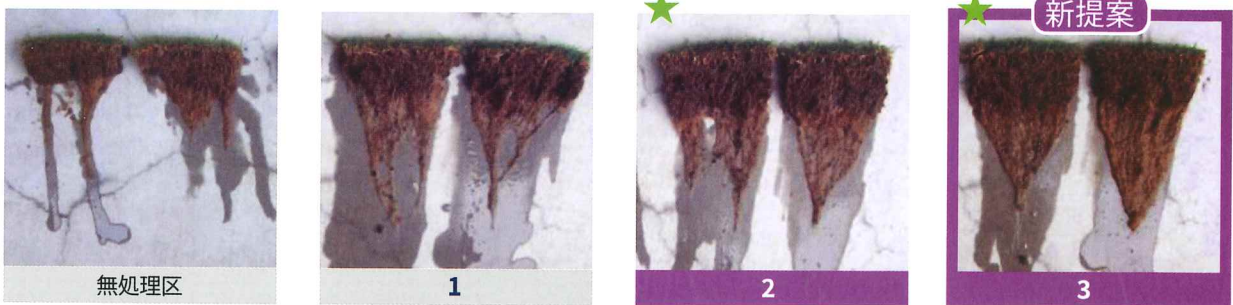
散布時期	4 月		5 月		6 月		7 月	
	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	中旬
薬 剤 名	★ シグネチャー WDG (1)		★ ミラージュ (0.5)	★ シグネチャー WDG (1)	★ インター フェース (1)	★ シグネチャー WDG (1)	★ シグネチャー WDG (1)	★ ミラージュ フロアブル (0.5)
	TPN剤		★ プロテクメート WDG (1)	TPN剤	TPN剤	TPN剤	TPN剤	
	ピシウム剤A (Qi)						ピシウム剤B (イソキサゾール)	ピシウム剤 (ローバーフロアブル)

散布時期	8 月			9 月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
薬 剤 名	★ インター フェース (1)	★ シグネチャー WDG (1)	★ プロテクメート WDG (1)	★ シグネチャー WDG (1)	★ シグネチャー WDG (1)	★ プロテクメート WDG (1)
				TPN剤	TPN剤	TPN剤
	ピシウム剤C (テトラソリル オキシム)	ピシウム剤D (フェニルアミド)	ピシウム剤A (Qi)	ピシウム剤E (カーバメート)		

※（ ）内の数字は薬量を表し、単位はmL/m²です。
※ストレスガード製剤及びプロテクメート WDGの散布
水量は100mL/m²を想定しています。
※シグネチャー WDGとプロテクメート WDGの混用はで
きません。
※複数の薬剤をタンクミックスする場合、投入の順番は
①展着剤→②液剤→③乳剤→④フロアブル剤→⑤水
和剤です。
※初めてタンクミックスを行う組み合わせの場合、事前
にパケツ等で混用試験を行うことをおすすめします。
※散布例はピシウム病の発生圧が高いケースを想定し
ています。ピシウム剤については、地域・発生圧・気象
条件等により適宜散布回数や時期を調節してくださ
い。

プログラム散布の効果（根量比較）

試 験 場 所 茨城県ゴルフ場（社内試験） 調 査 年 月 日 2013年9月6日



	全散布回数	内訳
1 慣行殺菌剤散布区 (UVカット資材含む)	殺菌剤7回	UVカット資材6回
2 ストレスガードプログラム ★	殺菌剤7回	★シグネチャー5回 (6月・1回、7月・2回、8月・2回) ★ミラージュ1回 (6月)
3 ストレスガードプログラム ★ 新提案	殺菌剤7回	★シグネチャー5回 (6月・1回、7月・2回、8月・2回) ★ミラージュ1回 (6月) ★インターフェース1回 (7月)

- ストレスガードを含むプログラム散布において (2、3)、夏越し後にベントグリーンの健全な根系が確認されました
- インターフェースを加えることにより (3)、さらに健全な根系の生育が確認されました

効率的プログラム散布のポイント

- 炭疽病・藻類の防除は発病前のプロテクメートWDG散布が効果的です。
- ストレスガード製剤（シグネチャー WDG・ミラージュフロアブル・インターフェースフロアブル）は紫外線の強くなる 5 月頃 からの散布が効果的です。
- 散布間隔は 10 日から 14 日を目安に散布してください。
- ピシウム専用剤のローテーションとしてシグネチャー WDG およびローバーフロアブルをお使いください。